

広島で養蜂プロジェクトを開始

県立高校と連携し1回目の採蜜を実施

銀座ミツバチプロジェクト



副理事長
田中 淳夫氏

銀座ミツバチプロジェクト(東京都中央区)は先月5日、広島県立世羅高校と連携した「広島平和ミツバチプロジェクト」を発足した。

放蜂式には広島市中央区袋町の藤田会長、これから同プロジェクトの活動を担う世羅高校の大島校長、担当教諭ならびに生徒たちも参加。現地のメディアが

見守る中、市内中区に立地する白神社で巣箱の門を開放した。

同日にははじめての採蜜を実施。巣箱の設置から20日後にして、約10kgのハチミツを収穫のハチミツを収穫した。

銀座ミツバチプロジェクトでは特集番組が組まれるほど賑わいました。中淳夫氏は「校長先生が見守る中、世羅高校の生徒さんたちと協力して採蜜。現地のテレビでは特集番組が組まれるほど賑わいました」と話す。参加した生徒たちは袋町の商店の人々に採蜜を報告。ミツバチは環境・生態教育だけでなく、こついった地域と学校との橋渡しにも貢献。銀座のビルの屋上から始まった養蜂活動は、さらなる広がりを見せる。



▶放蜂式には生徒たちも参加



見守る中、10kgの採蜜に成功した